

看護に携わる人たち

今回は、病院で働いている、看護師・准看護師、助産師、ヘルパーの人たちを紹介します。



看護師、助産師、ヘルパーになるには

看護師になるためには、高等学校卒業後、看護専門学校、看護短大、看護大学などで養成教育を受けます。卒業すると、看護師国家試験の受験資格が得られます。国家試験に合格すると、申請により厚生労働大臣から看護師免許が交付され、看護師として活動が可能になります。

次に、助産師になるためには、看護師免許取得者が、助産師学校などの養成機関で6ヶ月以上の専門教育と実習を受け、それぞれの国家試験に合格すると、助産師の資格が与えられます。ただし看護大学には、助産師に関する講義や実習を加えて行うことで、4年間の大学教育を経て看護師と同時に受験資格を得られる大学があります。

次に、ヘルパーさんです。一般的には看護補助者と言われています。ヘルパーとして勤務するには、採用後、当院でプログラムした教育を、一定期間受けていただきます。中にはホームヘルパー二級の資格を取得して活躍している人もいます。

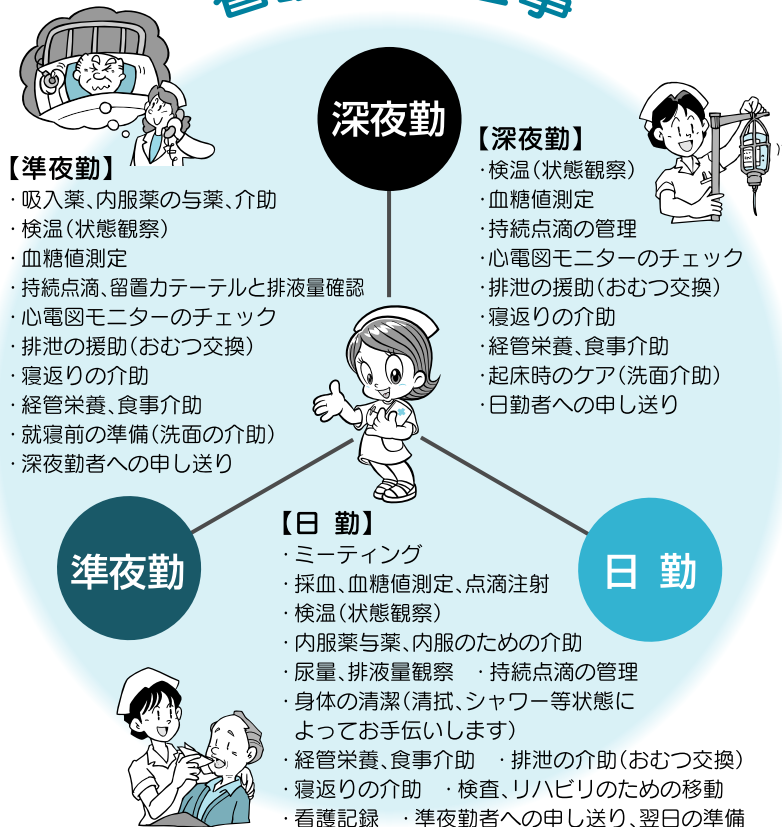
看護師・准看護師、助産師、ヘルパーの役割

看護とは、その人の健康問題に対する反応を診断し、健康のあらゆるレベルにおいて、その人が健康的に日常生活をできるように援助し、それまで持ち続けてきた生活の状態を整えることをいいます。

1. 看護を必要とする人に対して、身体的、精神的、社会的側面から支援を行う。
2. 看護を必要とする人が、変化によりよく対応できるように支援する。
3. 看護を必要とする人を継続的に観察し、問題を把握し、適切に対処する。
4. 緊急事態に対する効果的な対応を行う。
5. 主治医師の指示に基づく医療行為を行い、反応を観察する。

これらのことを、看護実践の重点的内容としています。
助産師は、女性の妊娠、出産、産褥の各時期において必要な指導や助言および看護ケアを行います。

看護師の仕事



看護師の一日

当院看護師の看護方式は固定チームナーシングを採用しており、一人一人の看護師が受け持ち患者さん

ヘルパーは、看護ケアにおいて、看護師が指示した範囲の責任を持ちます。看護師長および看護職員の指導の下に療養上の世話や環境整備、ベッドメイキング、看護用品等の整理整頓等の業務を行っています。

これらは、病棟看護師の一日の業務の一例であり、病棟や患者さんにより看護の内容は変わってきます。このほかにも、外来や腎センター、手術の介助など業務は多岐に渡っています。職員一同は患者さんのサポートは